

令和3年度『多文化共生の担い手連携促進研修会』 開催概要

1 主旨

在留外国人が増加傾向にある中で、多文化共生の推進に向けて、地域における多文化共生マネージャー（以下「タブマネ」という）(※1)など多文化共生の専門知識を備えた人材をはじめとした多文化共生関係者（以下「担い手」という）(※2)の連携・協働が求められている。他方でクリアが新たに認定したタブマネのモチベーション向上をはじめ、担い手の実践ノウハウ習得などスキルアップに向けた支援も必要である。以上を踏まえ、地域レベル及び全国レベルで担い手のつながり(ネットワーク構築・強化)やスキルアップの場の提供として、令和2年度に新たに認定したタブマネの紹介、テーマに関する講義、事例の紹介とそれに関する意見交換を含む研修会を実施することで、担い手の連携を促進し、多文化共生の取組を醸成する。

(※1) 地域における多文化共生を推進する専門知識を備えた人材としてクリアが認定している。

(※2) 多文化共生に係る専門知識を備えた人材、自治体、地域国際化協会、市区町村国際交流協会 NPO など民間組織等

2 日時

2021年12月9日(木) 第1部 9時30分～12時00分、第2部 13時30分～16時00分

3 対象

(第1部) 400名、(第2部) 50名程度 ※第1部のみ参加、又は両方参加

タブマネ(令和3年度新規認定者含む)、タブマネ以外の多文化共生の専門知識を備えた人材、自治体、地域国際化協会・市区町村国際交流協会、NPO等民間団体、外国人コミュニティなどのコミュニティ・ボランティアなど

4 形態

オンライン会議システム(Zoom) (第1部はウェビナー)

5 プログラム

<第一部>

●基調講演「文化庁における日本語教育の取組と事例(仮題)」 9時40分～9時55分
石神 香織 氏 (文化庁国語課 地域日本語教育推進室 協力推進係長)

●基調講演「日本語教育におけるICT活用(仮題)」 9時55分～10時40分
藤本 かおる 氏(武蔵野大学大学院言語文化研究科 言語文化専攻 准教授)

●事例紹介「オンライン教室のあり方」 11時05分～11時20分
内山 夕輝 氏 (浜松市外国人学習支援センター(U-ToC・ユートック))

●事例紹介「人材育成・確保」 11時20分～11時35分
花岡 沙代 氏 (長野県県民文化部 文化政策課 多文化共生・パスポート室)

基調講演の2つの後、または2つの事例発表の後、15分ずつぐらいに質疑応答時間もあります。

<第二部>

●令和3年度 タブマネ認定式 13時35分～13時45分

●リフレッシュ講義・グループワーク・発表、総括 13時40分～16時00分

以上